

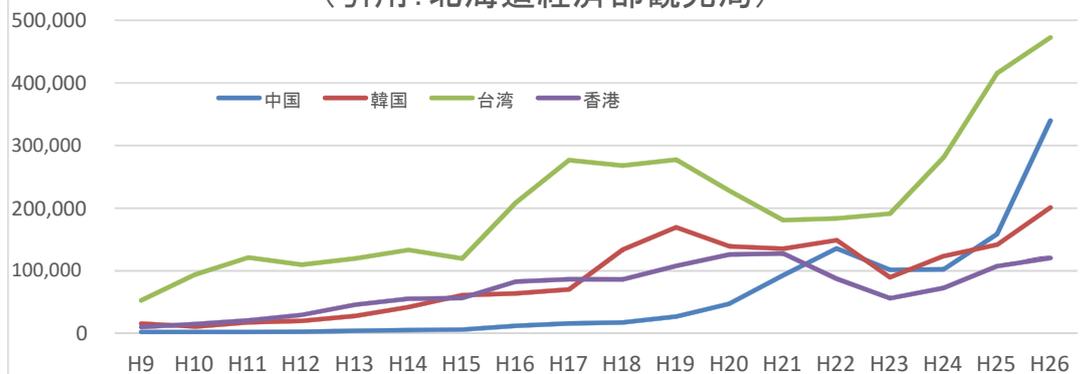
アジアの国際線直行便増便による 道北観光地域の活性化効果

4年W1組 4712116 佐藤里穂



背景

アジアの訪日外国人来道者(実人数)の推移
(引用:北海道経済部観光局)

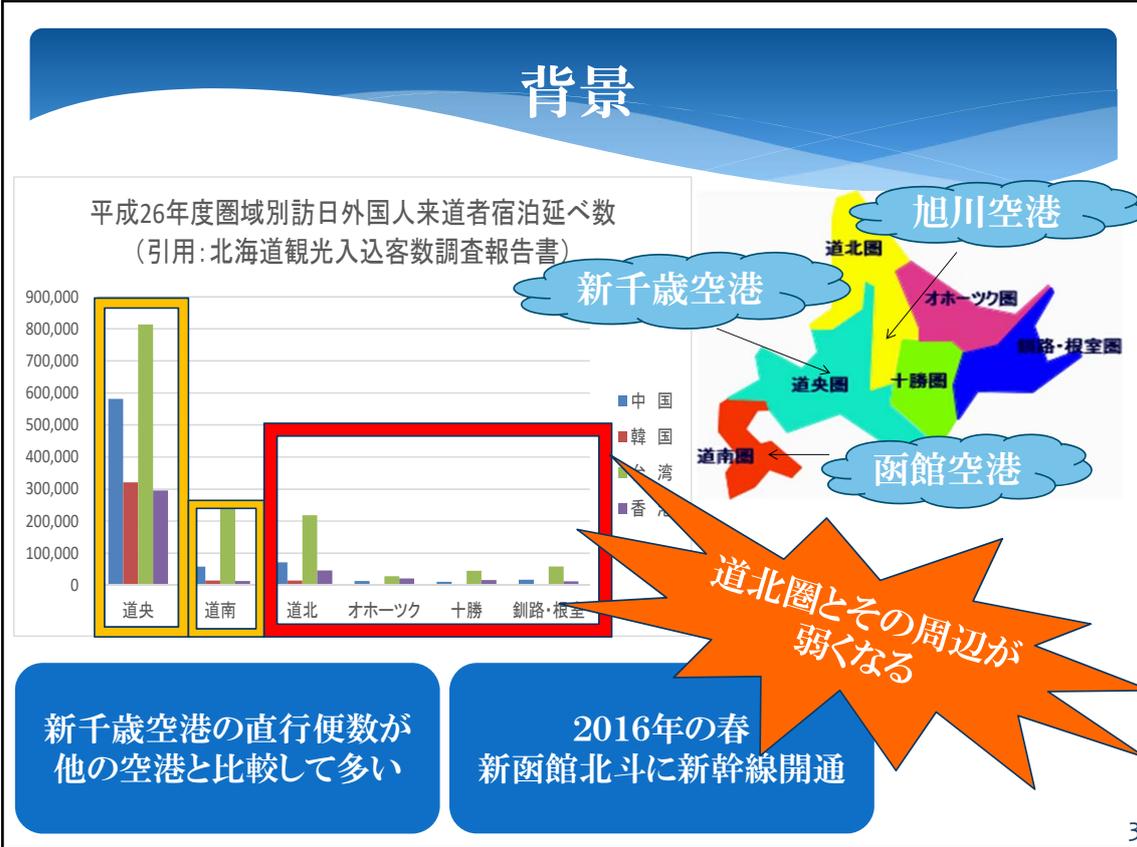


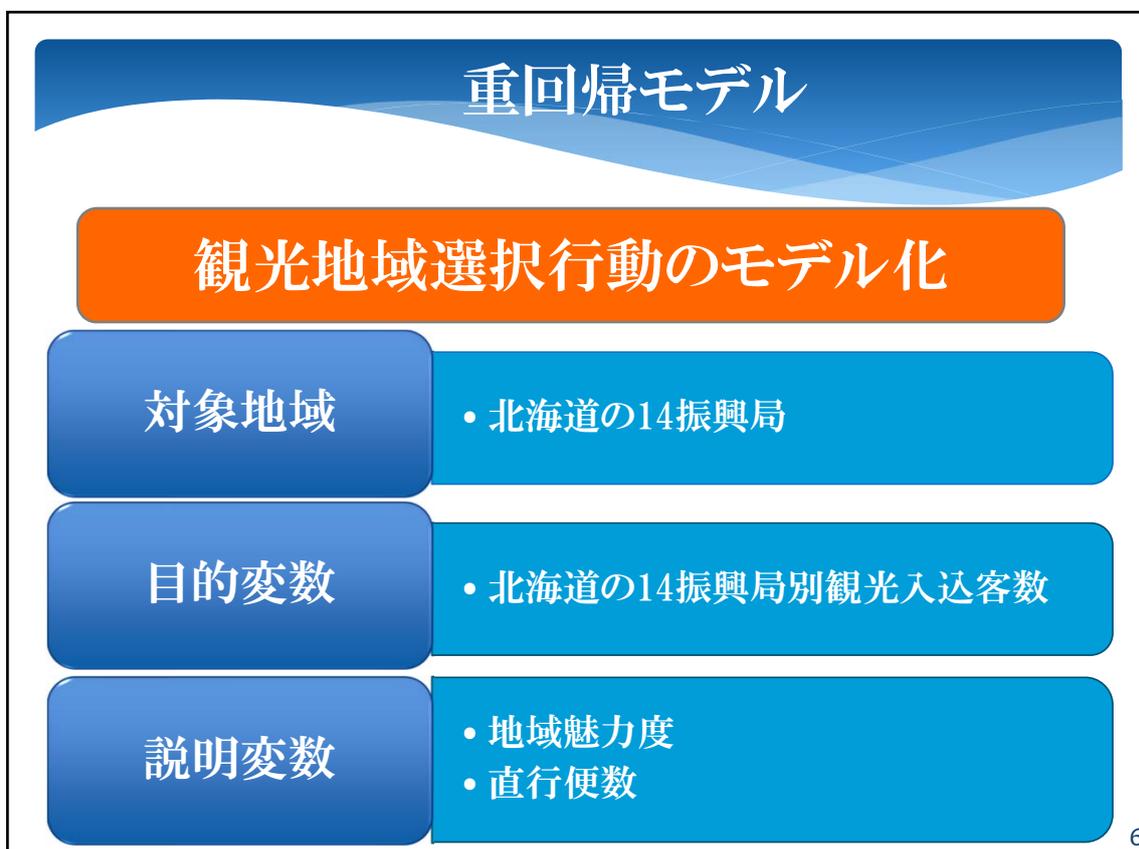
円安や免税対象品目の
拡大

東アジア諸国に
対する
査証要件が緩和



アジアからの
訪日外国人が増加





重回帰モデル

$$Y = \alpha \cdot FN + \beta \cdot SA + E + \text{補正值}$$

Y : 観光入込客数

α & β : パラメータ値

FN : アジア各国の直行便数

SA : 14振興局の魅力度

E : 定数項

補正值: 実際値と理論値の誤差

7

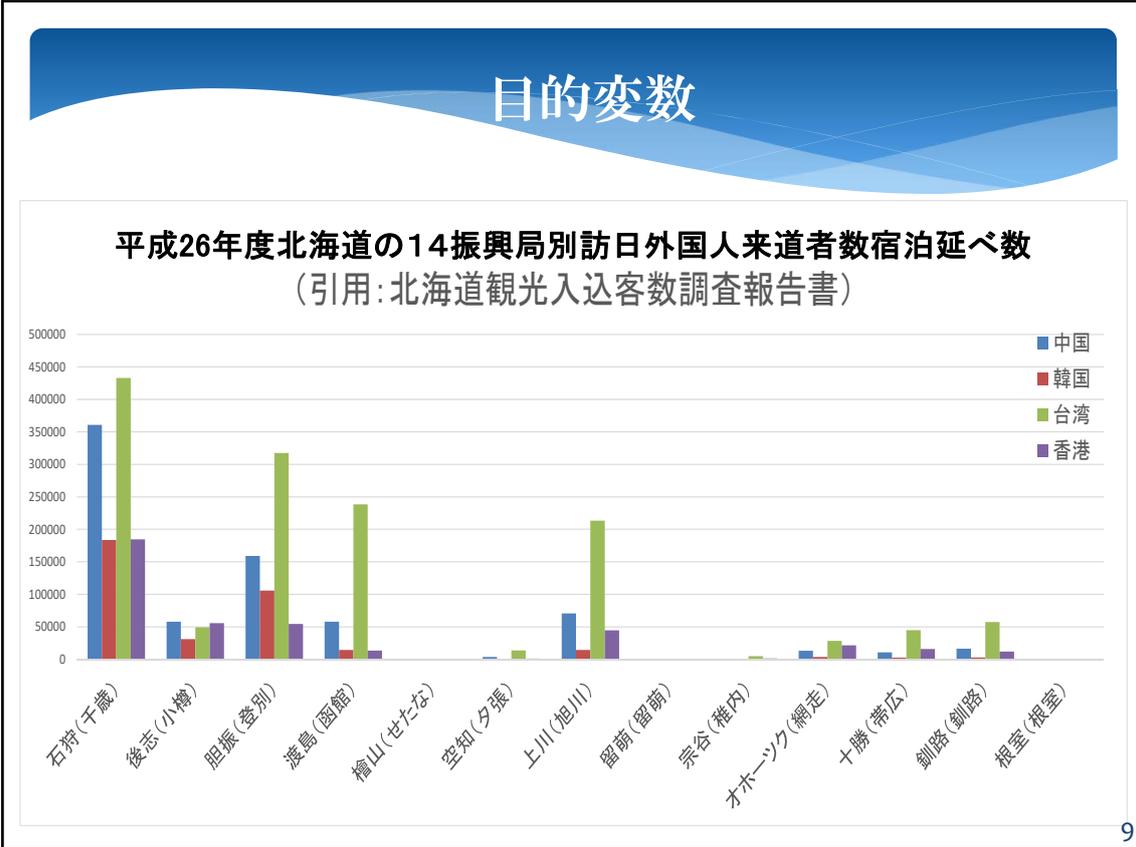
対象地域

北海道
14振興局

北海道
13振興局

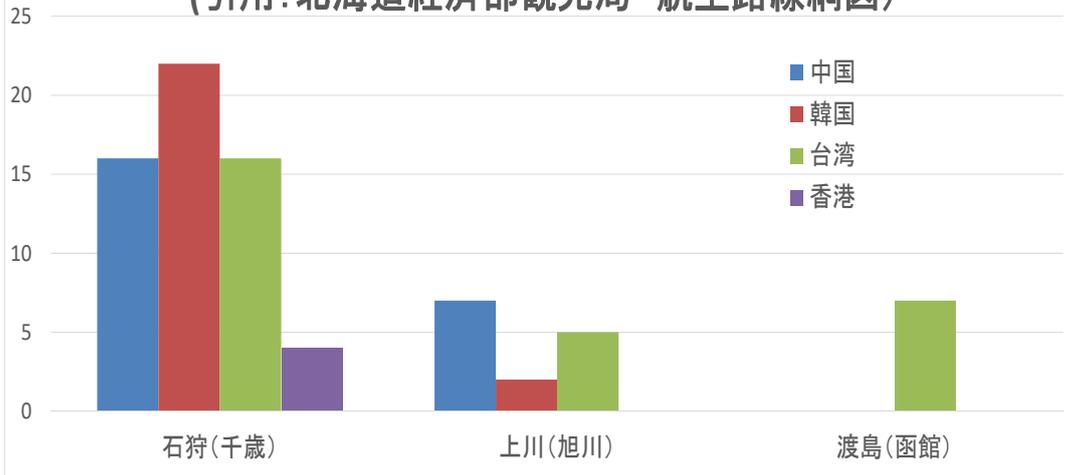


8



説明変数 (FN=直行便数)

平成26年度9月現在 1週間の直行便数(片道)
(引用:北海道経済部観光局 航空路線網図)

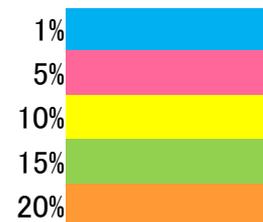


11

信頼度(P値)

	モデル	直行便数(片道)	魅力度
中国	0.0003	0.0269	0.0896
韓国	0.0006	0.0125	0.1462
台湾	0.0005	0.1821	0.0362
香港	0.0000	0.0001	0.0025

P値→5%以下だと信頼度が高い



12

直行便数増加シナリオの設定

観光客増加数の推計

	現在の観光客数 (人)	直行便数の片道 (便)	便数増便案 (便)	増加人数 (人)
中国	70,600	7	14	+84,115
韓国	14,182	2	4	+11,334
台湾	213,393	5	8	+29,232
香港	44,491	0	1	+31,585

道北の直行便数を千歳と同レベルの
観光客数当たりの便数を飛ばすと仮定

道北の直行便数を2倍と仮定

13

直行便数増加シナリオの設定

観光消費増加額の推計

	1人当たりの 観光消費額(円) (引用:国土交通省 観光庁)	現在の観光客数の 消費額 (円)	人数増加の 消費増加額 (円)
中国	197,777	13,963,056,200 (約140億)	16,635,997,250 (+166億)
韓国	64,020	907,931,640 (約9億)	725,618,319 (+7億)
台湾	110,821	4,930,537,111 (約50億)	3,239,526,685 (+32億)
香港	88,915	18,973,838,595 (約180億)	2,808,369,867 (+28億)

産業連関分析

	消費増加額
中国	16,635,997,256
韓国	725,618,319
台湾	3,239,526,685
香港	2,808,369,867
合計	23,409,512,127

北海道に落ちるお金
約234億

北海道全体の
経済波及効果
約307億

税金の収入
約11億

経済波及効果

30,726,412,336

税収効果

1,114,211,936

15

直行便増加政策の提案

旭川空港
着陸料

国際線共用
施設使用料

A321



着陸料・使用料

・ ¥262,600 (約26万)

アジア各国

・ 全便数 * (着陸料+使用料)

総料金を税金で
全額補助

総料金を無料にし
便数増加を図る

総料金(コスト)

・ 369,703,286 (約3億7千万円/年)

16

